

* 青字および下線箇所…記載に当たっての説明。提出時はすべて削除する。

* 赤字…記載例。申出の内容に合わせて加除修正し、最終的にすべて黒字とする。

様式 2 - 2

令和〇〇年〇〇月〇〇日

宮城県知事 殿

医療機関名：〇〇病院

施設長名：〇〇 〇〇

都道府県がん情報等の提供の請求について（申出）

このことについて、がん登録等の推進に関する法律（平成 25 年法律第 111 号）

第 20 条に基づき、別紙のとおり、当院が届出したがんに係る都道府県がん情報
第 20 条に準じ、別紙のとおり、当院が届出したがんに係る法第 22 条第 1 項第 1 号に掲げ
る情報

の提供を受けたく、申し出ます。

* 以下を参考（提出時は削除）に、申請する条項及び情報の種類を丸で囲むこと。

【申出者の主体による分類】

第 20 条・・・病院等への提供

【情報の種類】

都道府県がん情報・・・平成 28 年 1 月 1 日以降の症例に係る情報

法第 22 条第 1 項第 1 号に掲げる情報・・・平成 27 年 12 月 31 日以前の症例に係る情報

(別紙：様式 2 - 2 関係 都道府県がん情報の提供依頼に係る申出内容)

1 情報の利用目的

がんに係る調査研究のための場合は、利用目的を記載すること。

記載にあたっては、20 行以内をおおよその目安とし、がん以外の専門家にも理解できるようわかりやすく、簡潔に記載すること。

*利用目的のうち該当するものを丸で囲み、その概要について記載する。

・院内がん登録のため

(例)

がん登録推進法第 4 4 条第 1 項及び院内がん登録の実施に係る指針に基づき、国立がん研究センターが行う全国集計に提供するとともに、当院におけるがん登録患者の 5 年生存率を計算し、公表する。

・がんに係る調査研究のため

添付： 研究計画書等

*がんに係る調査研究のために利用を希望する場合、倫理審査委員会で承認が得られた研究計画書及び倫理審査結果通知書を添付すること（研究開始当初のものと最新のものを添付すること）。

2 利用者の範囲（氏名，所属，職名）

■添付：様式 2 - 3

添付：調査研究の一部を委託している場合は、委託契約書又は様式 4 - 2

*利用者は、利用目的を達成するため必要な者に限定し、それぞれの役割がわかるように明記すること。人数が多い場合であって、その理由について、表の役割への記載内容だけで説明することが難しい場合には、「5（2）調査研究方法」などで説明を付すこと。

*必ず利用責任者を置くこと。また、利用場所が複数ある場合は、利用場所ごとに利用責任者を置き、これらの利用責任者を統括する統括利用責任者を置くこと。

*本申請では、明記された利用者以外の者に集計結果等を提供することは公表として取り扱う。公表前の集計結果を利用する者は利用者を含めること。

*利用場所が複数ある場合は、表の右端に 1 列追加し、項目名を利用場所とし、誰がどの場所で利用するのかが分かるように記載すること。

【院内がん登録のため】

氏名	所属機関	職名	役割
〇〇 〇〇	〇〇病院 〇〇室	〇〇室長	利用責任者
〇〇 〇〇	同上	診療情報管理士	入力作業
〇〇 〇〇	同上	診療情報管理士	入力作業

※全ての利用者分、行を追加すること。

【がんに係る調査研究のため】

氏名	所属機関	職名	役割

※全ての利用者分、行を追加すること。所属機関が複数ある場合は、すべての所属機関及び所属する機関における職名又は立場を記載すること。

3 利用する情報の範囲

診断年次：2016年から2019年診断

*診断年次については、相談窓口を確認し、利用可能な範囲で申請すること。

*利用目的によって利用したい情報の範囲が異なる場合、それぞれの範囲を分けて記載すること。

4 調査研究方法（院内がん登録のための場合は省略可）

利用目的ががんに係る調査研究のための場合は、具体的に調査研究方法を記載すること。

添付：集計表の様式案等

※1 集計表の作成を目的とする調査研究の場合

作成しようとしている集計表の様式案を添付すること。

※2 統計分析を目的とする調査研究の場合

実施を予定している統計分析手法を具体的に記述する。

*記載にあたっては、20行以内をおおよその目安とし、がん以外の専門家にも理解できるようわかりやすく、簡潔に記載すること。

5 利用期間

必要な限度の利用期間を記載すること

例：~~_____年_____月_____日まで又は提供を受けた日から5年を経過した年の12月31日までの期間の短い方~~

(例1) 提供を受けた日から5年を経過した年の12月31日まで

(例2) 提供を受けた日から20XX年〇月〇日まで

6 利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

*第20条で提供された情報の取扱いについては、「基本的に院内がん登録運用マニュアルに則っていれば問題ない」との見解が国立がん研究センターから示されていることから、以下の項目を記載するに際して

は、院内がん登録運用マニュアル等の規定に基づき安全管理措置を講じていることが分かるように記載すること。

◆都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会第 11 回 がん登録部会 資料 3

https://ganjoho.jp/med_pro/liaison_council/cancer_registration/20200616/index.html

(1) 情報の利用場所

*利用場所の特定のため、施設内の見取図を添付すること。また、見取図においては、利用場所及び利用場所への全ての出入口とその施錠の有無を明示すること。

*利用場所が独立した部屋でない場合には、その区画や範囲が分かるように、見取図に明示すること。

*見取図は、白黒印刷でも上記の内容について判別できるように作成すること。

(例) ○○病院 ○○室
院内見取図 (別添)

(2) 情報の利用場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について

*情報の利用に関する安全管理措置の実施状況について、実施している対策にチェックをつけ、実施していない対策については、枠内に代替策等を記載すること。

*以下、(3) 及び (4) についても同様に記載すること。

(組織的)

- 統括利用責任者は、個人情報の漏洩等の事故発生時の対応手順を、整備している。

(具体的に記載)

(例)

「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」に基づき適切に管理を行っている。

(物理的)

- 個人情報の利用場所及び保存区画は、他の業務から独立した部屋である。
- 利用責任者は、利用場所への入室を許可する者の範囲を明らかにしている。
- 利用責任者は、利用場所の入退室時の手続きを明らかにしている。
- 機器類 (プリンタ、コピー機、シュレッダなど) は、他の業務と共用せず、利用場所内に設置している。
- 個人情報の保存区画の施錠は、前室と利用場所等、二重にしている。

(具体的に記載)

(例)

- ・ 医事課の一面をパーティションで仕切り、診療情報管理室とし、他の業務から独立した場所で作業を行っている。
- ・ 医事課の出入口の施錠はオートロック式で、専用の ID カードがなければ入室できない。



(3) 情報の利用時の電子計算機等の物理的及び技術的安全管理措置状況について
(技術的)

- システム管理者によって管理されている不正侵入検知・防御システム及びウイルス対策機能のあるルータで接続されたネットワーク環境を構築している。
- 情報を取り扱う PC 及びサーバは、ログインパスワードの設定を行っている。
- ログインパスワードを 8 桁以上に設定し、第三者が容易に推測できるものは避けている。
- ログインパスワードを定期的に変更し、以前設定したものの使い回しは避けている。
- ログインパスワードを第三者の目につくところにメモしたり、貼付したりしていない。
- 外部ネットワークと接続する電子媒体 (USB メモリ、CD-R など) を、情報を取り扱う PC 等に接続する場合は、ウイルス等の不正なソフトウェアの混入がないか、最新のウイルス定義パターンファイルを用いて確認している。
- 情報を取り扱う PC 等は、安全管理上の脅威 (盗難、破壊、破損)、環境上の脅威 (漏水、火災、停電) からの保護にも配慮している。
- 個人情報を取り扱う PC 等は、スタンドアロン又は物理的若しくは論理的に外部ネットワークから独立した有線の環境である。
- 個人情報を取り扱う PC 及びサーバは、生体計測+ID・パスワード等の 2 要素認証としている。
- 情報を取り扱う PC 及びサーバにチェーン固定等の盗難防止策を講じている。

(具体的に記載)

(例)

- ・ 外部ネットワークから独立した有線の環境でサーバにデータを保存し、データが保存されたフォルダには、利用者によりのみアクセス権を設定する。

(4) 情報、中間生成物及び成果物を保存する媒体の種類及びその保管場所並びに保管場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について

*利用場所が複数ある場合、利用場所間での情報の移送について、国の「[全国がん登録 利用者のための安全管理措置](#)」の 9 ページ IV 2. 移送を参考に具体的に記載すること。

(物理的)

- 情報を含む電子媒体及び紙媒体を保管する鍵付きキャビネット等を整備している。

- 情報を保存するロッカー、キャビネットは、施錠可能な利用場所に設置している。

(具体的に記載)

7 調査研究成果の公表方法及び公表予定時期

複数の媒体で公表予定の場合は、公表予定時期を含めて全て記載すること。

例：~~—年—月頃—〇〇がん学会学術集会にて発表予定~~

~~年—月頃—〇〇がん学会雑誌に論文投稿予定~~

20XX年X月頃 ホームページにて公表予定

*国立がん研究センターの全国集計に参加する場合、がん登録推進法第44条第1項及び院内がん登録の実施にかかる指針に基づき提供するため、国立がん研究センターによる当該集計の公表については記載しなくてよい。

8 情報等の利用後の処置

例：情報の移送用のCD-R：裁断

サーバ・コンピュータ内の情報及び中間生成物：〇〇を使用しデータ消去

試行的に作成した集計表や中間分析結果等の中間生成物の印刷物：〇〇において溶解

*個人情報記録された媒体等の処置については、国の「全国がん登録 利用者のための安全管理措置」の11ページ【補足：廃棄について】を参考にすること。

*情報の廃棄を利用場所以外の場所で行う場合、または、委託業者へ依頼する場合、情報の移送について具体的に記載すること。

9 その他

事務担当者及び連絡先等を記載すること。

他、必要事項があれば記載すること。

(例) 〇〇病院 〇〇室 担当：〇〇 〇〇

〒〇〇〇-〇〇〇〇 宮城県〇〇市〇〇〇〇

TEL：〇〇 - 〇〇 - 〇〇 (内線：〇〇)

E-mail：〇〇